

パワポタイマー

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています





仕組みが複雑なため、最初にどんな風に作られているかイメージしてください。 2枚のスライドを作ります。

1枚目のスライドでは、一番下に赤白の円があり、その上に赤い半円が載って います。

赤白の円が回転しながら赤い半円の下に隠れていきます。

2枚目のスライドでは、白い半円が上にあり、その下に赤白の円が隠れていきます。

この2枚のスライドが連続することによって、赤い円が減っていくように見える仕組みです。



4	日数体存 ① 〇 ○ </th <th>「挿入」→「図形」から 「D」な形をした「フローチャート:論理積ゲート」。</th>	「挿入」→「図形」から 「D」な形をした「フローチャート:論理積ゲート」。
5		「Shift」キーを押しながら、図を適当な大きさで描 きます。 ※「Shift」キーを押さないと比率が崩れるためで す。
6		「図形の編集」→「頂点の編集」。
7		「D」の形の図の左上隅の点の上で右クリックして 「頂点の削除」。
8	現金の相接(上) パンモル(U) パンモル(C) パンモル(C) パンモル(C) パンモル(C) 月金を建たってる(C) 現金は盛い作了(E)	同じように左下隅の点の上で右クリックして 「頂点の削除」。 半円ができます。

9	テーション1 - PowerPoint の 検索	「図形の塗りつぶし」→「赤」。
	Abc Abc Abc Abc Cont 区でのおりつぶし ~ Acrobat 区での支払 ~ Abc Abc Abc Cont 区 区形の投除 ~ Abc Abc Abc Cont 区 区形の投除 ~ Abc	図形の枠線」→ 枠線なし」。
	○ 図形の効果 ~ : 図形のスタイル 5 ワードアートのスタ	
		
10		「Ctrl」+「D」キーで半円を複製。
11	● ● 配置 ~ ① ① ○ </th <th>「回転」→「左右反転」で、複製した半円を反転さ せます。</th>	「回転」→「左右反転」で、複製した半円を反転さ せます。
12	° · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	反転させた半円を最初の半円にぴったりくっつけ
12		るように移動させて円を作ります。
13	>1 - PowerPoint の検索	「図形の塗りつぶし」→「白」。
	ド ショー 校閲 表示 ヘルプ Acrobat 図形の書式 Abc Abc デーマの色 スタイル ワードアートの	
14		「Shift」キーを押しながら赤い半円も選択(赤と白の米田トキン器相キャキル能)
		のキ円とも選択された状態)。 「Ctrl」+「G」でグループ化。

15		円を十字のガイドに合わせてスライドの中心に配 置。
16		「Ctrl」+「D」キーで赤白の円を複製。
17	Import #import #import#import #import #import#import #import #import #import #import	「回転」→「左右反転」。
18		グループ化されている円の右側の白い半円をク リック。 「図の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。
19		スライドの何もないところをクリックして、図形 の選択を外し、再度、片側塗りつぶしなしにした 円の赤い半円の方をクリックして、スライドの中 心に移動させます。
		←このような状態になっています。



26	クリックしながら、円が入るように、四角形を描 く要領で囲みます。 重なった円の両方が選択されます。
27	「図形の書式」→「回転」→「左右反転」。
28	円の右側だけが選択されるように、何度かクリック。 「図形の塗りつぶし」→「白」。
	←このような状態です。
29	「F5」キーを押してスライドショーを見てみましょ う。 赤い円がタイマーのように消えていけば OK です。
30	タイマーの時間の変更方法です。 1枚目のスライドのサムネイルをクリック。 「アニメーション」をクリック。 「アニメーションウィンドウ」の「グループ化・・」 の項目をダブルクリック。 「タイミング」タブをクリックし、「継続時間」に タイマーに設定したい時間の半分の時間を入力し ます。ここでは3分タイマーを作るとして「1:30」 と入力。 2枚目のスライドも同じようにアニメーションの 継続時間を「1:30」にすれば、2枚のスライドを 合わせて3分になります。 ※ 継続時間は10分までしか設定できないので、 合わせて20分までのタイマーができます。